



# かえでゆうびん 11月号



2022年11月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

晴天が続き、空には雲一つない素敵な青空が広がっています。

まさに「天高く馬肥ゆる秋」の季節を楽しんでいます。

子どもたちは体を動かし、そしておいしいお昼ごはんをいっぱい食べ、近くにいるお友達と様々な体験をし、園生活を楽しんでいます。天高く…の意味は、秋は空が澄み気候が良いため食欲が増し、馬も肥えるということ。また、食欲の秋・暑い夏が一段落して寒い冬が来る前の短いですがホッとしながら美味しいものをゆっくり時間をかけて頂ける季節。子どもたちと素敵な時間を過ごしたいと思います。

また、今月号で久しぶりに感染症の対応のことや現状をお知らせし、感染症に対して注意喚起したりするメッセージがなく、原稿をまとめられています。これから心配することなく生活が元に戻る…ということはおそらくありませんが、感染症に恐れて経験・体験不足にならないよう上手に進めていきたいと思っています。

先日、名古屋に研修に行きました。3年ぶりの対面研修でした。

当たり前前に交通機関を使って出かけ、対面研修やイベントに参加してところが懐かしく思います。コロナ禍での打ち合わせや研修はオンラインが当たり前になっています。このような状況は、ますます人との距離感や人とともにやり遂げることなどを遠ざけてしまっています。「コロナ」が消えないこの時代に生まれ今後どんな事が待っているか未知ですが、今できること・今やらねばならないことを選別し保育を進めていきます。

11月、運動発表会が明けた **8日の火曜日より登降園の際、保護者の方々の入館を進めていきたいと思っています**。手順等を「大切なこと」に記載していますので再度読んでいただき、送り迎えをしてください。

また、降園時には、お子様の様子をお伝えしながら職員ともゆっくり話す時間もとりたいと考えています。

詳細はお知らせいたします。

## ダンディタイム・かえでカフェのお知らせ

今年度の初め、めばえの前の築山・園の外周植込みの手入れ等を進めていただきました。理事長が少し手直しをしていますが、再度、園庭を整えていただきたいと思います。

ダンディタイムの予定

11月26日(土) 13:00~

かえでカフェは藤森による食育活動のヒント

日程は掲示させていただきます

## お知らせ

・登降園の仕方

**11月8日より、保護者の方の入館を再開します。**

～登園時の流れ～

①手指の消毒 ②ICTカードのタッチ

②各保育室にてお子様の受け渡し(健康調査票をお渡してください)

～降園時の流れ～

①手指の消毒

②各保育室(園庭にいる際はここに広場)にてお子様の受け渡し

③ICTカードのタッチ

**降園時はなるべく駐車場の滞在時間を短くし譲り合ってください**

## おねがい

・冬支度

少し肌寒くなると大人はすぐに長袖を着てしまいます。

日中は子どもの活動はとにかく走り回っています。長袖をご用意くださる場合、トレーナーや上に羽織るもので十分です。

・下着について

基本下着は綿100%を着用してください。ヒートテックは不適當です。

## 11月の予定

・5日(土) つぼみ～だいち 運動発表会

めばえ・ふたばの保育はありません。家庭保育にご協力お願いします

・8日(火) 月例健診

・11日(金) だいち 園外保育

・14日(月) だいち 西宮市私立保育園・児童交流会

・18日(金) 全クラス お弁当日

幼児クラスはバス遠足です。詳細はお手紙配布します。

・30日(水) 全園児参加 移動動物園

・体操あそび 10・17・24日(木)

・絵画あそび 15日(火) 25日(金)

## 12月の予定

・3～10日めばえ、ふたば訪問ウィーク

・17日(土) かえでフェスティバル

・12月29日～1月3日 休園

12月27・28日 1月4・5日

(1号及び家庭保育可能なご家庭は冬期休暇)

だいち組では「世界冒険の旅」は10月1日に行われた「だいぼうけん」の日から、国旗を描いてみたり、街中の国旗を探したり、国旗を見ながら国名を言いあつたりと、多くの国に触れ楽しんでいます。日々調べた世界ことを子どもから教えてもらい保育者や他のクラスの子も自然と多くの遊びや学びを広げだいちとともに楽しんでいます。

今では、もっと知りたい、知らない人にも教えてあげたいと、その「もっと」がどんどん増えていきます。これをきっかけに子どもが楽しみ、様々なことに興味をもち、「もっと」をひろげるきっかけ作りをし、これからも一緒に探して行きたいと思っています。

先日、久しぶりに遠く離れた娘のところに泊りに行くことができました。出かけることは楽しみもたくさんありましたが、家に帰ってくるとほっとしました。代り映えのしない家の中ですがドアを開けた途端「あー家に帰ってきたー」と家の空気や音を感じるだけで和みます。子どもたちにとって長い時間を過ごす保育園の中にもお家と同じようにほっとできる空間がたくさんあるよう環境づくりに努めていきます。

主幹保育教諭 藤森寿美

かえで保育園では職員の「人としての向上」を目指して、園内研修を行っています。今回のテーマは『保育の中で大切にしていること』日頃の保育を言葉で表す難しさを感じながら、一人ひとりが自身の保育と向き合い考えました。

『大人の感覚で決めつけない』『子どもを信じる』『子どもが自然体でいられること』『あったかいこと』『色々な人の視点でみつめること』様々なキーワードが出たのですが、答えを絞ることはせず、互いの考えや想いを伝え合い、自身の保育と照らし合わせながらディスカッションする場となりました。

子どももまた、おうちの方とのコミュニケーションから始まり、表現する・伝える・伝えあうことをそれぞれのペースで経験しますが、なかなか思うようにいかず日々葛藤する姿も見られます。

子どもも大人も、誰かに想いを受け止めてもらう経験を重ねた人ほど、他者の感じ方や考えに触れた時に「それもいいね」と思えるような気がします。私自身も子どもの自由な発想に、新しい見方を知りわくわくする気持ちを抱きながら「それもいいね」の言葉を増やしていきたいです。

主幹保育教諭 河本彩奈

# 今月の子どもたちのようす

10月のかえでの様子をご紹介します。



朝、牛乳を飲んだ後、絵本の読み聞かせをしています。「だるまさんが」の絵本がお気に入り、身体を揺らして見えています。絵本の読み聞かせが終わり、一人ずつ名前を呼ぶと「はい」と元気な声を聞かせてくれます。



保育者と手を繋ぎ、歩いて交通公園へ出かけました。車やトラックが通ると「とらっきた〜！」と大喜びな子ども達。運転手さんに手を振りながら楽しそうに歩いていました。



大きなダンボールを広げ、全身で絵の具遊びを楽しみました。絵の具がなくなると「もっといれて〜」と絵の具を入れているバットを持ってきていました。「びんくいろだ」「これはあか」など呟きながら描いていました。少しずつ色の名前も覚えてきているようです。

みんなでバギーに乗って、交通公園へ散歩に出かけました。道中で、大きなバスやパトカーに出会い、「ばいばい」と手を振っていました。公園では、すべり台を滑ったり、トンネルから顔を出してみたり。枯葉を拾って遊ぶ姿もありました。



秋を探しにいこう！と交通公園へ散歩に出かけました。

落ちてきたばかりの小さなどんぐりを沢山拾い集めて、カップをいっぱいにしていました。小さなどんぐりは「べいびーどんぐり」と名前をつけて可愛がっていました。



ランチルームでボール遊びを楽しみました。色々な形のボールを投げたり、転がしたり、たくさん身体を動かして遊んでいました。「ないないしようね」と声を掛けると、みんな箱にボールを入れて、上手に片付けができました。



新しい机上遊びとして、テディメモリーが登場しました。

みんなで順番にカードをめくってかくれんぼしているクマさんを探し出します。

「どこかな？」「ちがったね〜」「いっしょだよ！」と当たっても外れてもワイワイ盛り上がっていますよ。



だいち組の冒険の日の後、ペアのお兄さん・お姉さんと一緒に世界旅行を楽しみました。トンネルを潜り抜け、ウミガメやゾウに乗ったり、塔やシーサーを見たり、初めてのものに大興奮の子どもたちでした。

遊びの中でも少しずつひかり組さんとの仲も深まっているように感じます。





先日園庭で一匹のカマキリを見つけました。バッタやアマガエルなどはよく見かけますが、園庭ではなかなか出会うことのないカマキリにみんな興味津々でした。カマキリを捕まえた日のお集まりでは「カマキリくん」という絵本をみんなで読みました。絵本の最後にはカマキリを逃がしてあげるシーンがあり、夕方園庭で実際に触ってみたり観察を楽しんだ後は園庭に帰してあげました。春にまた出会えるでしょうか？

園庭では毎日野球が盛り上がっています。野球に詳しいお兄さんや友達からボールの投げ方やバットの構え方を教えてもらい、ピッチャーになることを楽しんだり、バットを思い切り振って「すどらいー！」などと言葉を交わして元気に遊んでいます。だいちの野球する姿の真似から始まり、今ではいぶきのチームができそうです。



「ペアで世界探検」

ペアの友達と世界探検にでかけました。ヨーロッパの街並みや景色を体験したり、各国の料理に触れたり、南国気分を味わえるように衣装を着てみたりして楽しみました。世界探検に行くときはペアの友達と一緒に巡ることを約束し、どのペアも世界のどこかで迷子になることなく巡っていました。



「はまかぜリレー」

ひかり組、だいち組の友達でリレーをしたいという声から、リレー対決をして遊んでいます。2チームは、普段異年齢で分かれている「はま・かぜ」です。もっている力をだして走ることそしてバトンをつなぐことがリレーの面白さのひとつです。両チームともに、バトンを次の人につないで走っていました。

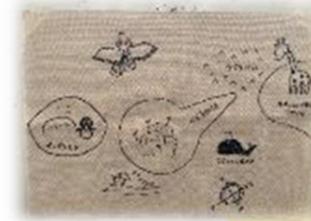


「御前浜公園にいったよ」

いぶき組、ひかり組、だいち組で御前浜公園にでかけました。砂浜で貝殻を見つけたり、流木や枝で釣り竿をつくって遊びました。特に楽しみにしていたのは、かえで特製弁当を食べることです。ペアの友達と一緒に浜風を感じながら味わっていました。皆で外に出る機会をたくさんもっていきたいです。



ペリカンに届くかな



春から園庭の砂場にたくさんあった貝殻を毎日こつこつペットボトルに集め、今は2本目、3本目となりました。大切な貝殻コレクションを毎日のように眺めています。貝類館では様々な形、色、模様の貝殻に「綺麗な色だね」「こんなに大きいものもあるの？」と興味深々でした。じっくり観察して、それぞれがその時に感じたことを話し合うのは子ども達にとって相手の気持ちを知るきっかけにもなったようです。



だいち組が園外保育に出かける度に「いってらっしゃい」「気をつけてね」の言葉に続いて「だいちさんいいな〜」と呟く声が聞こえていました。貝類館に出かけてからは、御前浜での貝殻拾いや園庭の砂場で「新しい巻貝見つけた」「〇〇ちゃんも探してたから見せてみよう」「一緒に顕微鏡で見よう」と色の違いや形をじっくり観察をしています。貝殻をきっかけに異年齢での関わりも深めていきたいです。



幼虫の頃から育てていたアゲハの幼虫がさなぎになりました。子ども達は興味津々の様子で虫かごの蓋をじっと見て、いつ蝶々になるのかなと毎日心待ちにしています。

どうぶつ王国ではたくさんの動物がいましたが、子ども達が会いたかったペリカンも見ることができました。目の前で見るペリカンの迫力にみんな夢中になっていました。御前浜では羽を見つけ、離れた場所には数匹の鳥がいたので、「ペリカン配達員の友だちかな」「ここでアザラシ配達員と会っているのかな」と子ども同士で話している声も聞こえてきました。最近では遅出の職員に「(延長保育の時間に)ペリカン来たかどうか見てね」と伝え、早くペリカン配達員に会いたくて仕方がない子どもたちです。



ペリカン配達員からの郵便物は園庭のヤマモモの木に届きます。「ペリカンはどこにすんでいるのかな」気になった子どもが手紙を出すと、先日地図が届きました。その地図にはペリカンだけでなく、キリンやアザラシ、ペンギン、クジラなど物語に登場する他の生き物の絵も書かれてありました。「地図を見てここに行けるかな」と子どもたちの夢が膨らんでいます。



## 子どもたちのメッセージ



世界に興味をもち、国旗を描くようになりました。国旗の本を見ながら色・模様を細かく描いています。国旗の本には有名なものや挨拶などが書かれてあり、友だちと話をしながら楽しく世界地図を作っています。幼児部屋にある国探しゲームというカードゲームも子どもたちは得意になりました。大人もかかないません。また国旗について調べていると、町の中にも様々な国旗がある事を発見しました。ぜひ子ども達と一緒に探してみてください。



フランスの国旗だ



だいち組で育てているゴーヤの葉についていた青虫。その青虫を「育てたい」と一人の女の子がいました。ゴーヤの葉は大きくなっている途中なのでさつまいもの葉を少しもらい、育てることにしました。名前はゴーヤの葉にいたから“ごーやちゃん”です。毎日嬉しそうにお世話をしていると、数日後白い糸で覆われていました。「蛹になる準備をしているんだ」と待っていると少しずつ体が黒くなり…大きく成長しました。その正体はミツモンキンウワバでした。毎日ごーやちゃんの様子を見ては嬉しそうに教えてくれます。



ねずみばあさんへ手紙を書いたから「また手紙こないかな」「どこで見てるのかな」とときどきわくわくを楽しんでいます。「もしかして、恥ずかしくてでてこないかな?」「怖いだけでなく優しいのかもね」とそれぞれの思いを友だちと共感しながら話し合う姿がよく見られます。“ねずみばあさんに会いたい”という気持ちから実際にねずみばあさんを作ってみよう!と絵本を見返して細かい部分まで再現しようとおしいれのぼうけんの世界へ向かうために必要なものを、話し合いながら素材を選んで作っています。子どもたちの思いが詰まったねずみばあさんは運動発表会に登場するのでこちらも注目してみてください。



## お台所から



10月13日

秋の味覚の代表の1つである「栗」がおやつに登場しました。前日から机に栗を置いて「明日は栗がおやつに登場するよ」とお知らせすると、みんな「なにになに〜」「明日は栗なの?!」「楽しみだな〜」と興味津々。実際に栗を前にすると、みんな真剣に一生懸命にスプーンで栗をすくっては「甘いよ」「ホクホクしてる」と栗の素材のおいしさを感じ、その後残りを特別に園庭でいただき2度栗の美味しさを堪能しました。

栗をすくって食べるのが難しいですが、色んな食べ方を知ったり、旬の味を味わって欲しいです。



10月17日

少し季節はずれでしたが、松秀幼稚園で育った竹をいただき流しそうめんを行いました。お箸やフォークで流れてくるそうめんを器用に掴んで「たくさんとれたよ」「上手につかめた!」と大盛り上がりでした。みんなで「がんばれ〜!」と声を合わせて応援をして上手につかめた友達に拍手を送る姿もありました。

お昼には厨房で別に茹でたにゅうめんを食べました。体験をした後のそうめんは美味しかったようです。



10月19日

お誕生日会の日には誕生日ケーキを今月は新しいレシピで生クリームや季節のくだものをそえてケーキを作りました。

みんな「いい匂いがする」、「フワフワでとっても美味しい!」とたくさん声をかけてくれて、「美味しかったよ」と好評でした。

梨が少し苦手な子も「ケーキと一緒に一つだけ食べてみるのはどう?」と提案すると「食べれたよ。一緒に食べると美味しい!」と驚きの表情で教えてくれました。



## 11月 食育活動

- 白菜やキャベツの葉っぱをちぎったり、さつまいもなどの旬の食材や野菜に触れてもらう機会をたくさん作りたいと思っています。
- 「さつまいも掘り」をしてのやきいもや「和食の日」を設け、いただいた新米を目の前で炊いたり「食欲の秋」を満喫して欲しいです。



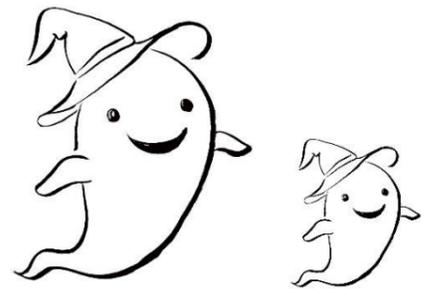
## 先生たちのメッセージ

先日、友人に誘われて名古屋の美術館に出かけました。私はあまり芸術や美術品に詳しいわけではなく、じっくり見るタイプでもないので躊躇していたのですが、友人が「その感じ方もいいよね」と肯定してくれたこともあり、せっかくなら…と、ついていってみる事にしました。普段過ごしている空気とは少し違う静けさの中で、昔の遺品や歴史をたどっていく体験はなんだか新鮮で、詳しくないながらも楽しむことができました。

初めての場所や体験をするときに「今からでもいいのかな?」「分からないけどいいのかな?」と悩んでしまう事が多いのですが、体験してみるとその心配はいらなかったな、となる事も多く、最初に一歩踏み出すことの勇気が豊かな体験に繋がっていくのだと感じました。

「初めて」を沢山経験する子どもたちにとっても、勇気を出した最初の一歩が自信と楽しさに繋がってくれたらいいな、と思います。

立田瑛怜菜



## 保護者からのエピソード

昨年はお姉さん、お兄さんに遊んでもらうことが多かった娘が、同じクラスの子とお話ししたり、遊んだりしたことを家で話してくれる姿を見て、成長を感じています。色々な経験をさせて下さる保育園の先生、お友だちに感謝の気持ちでいっぱいです!

ふたば組 みきさん

家では、「ママできな〜い」「ママがして〜」とよく泣いている息子。心配で保育園での生活を尋ねると、あまり泣くことはない聞き安心。遊びの内容や行動を教えていただき、驚かされることも多く、成長しているんだなぁと感じています。このまま保育園での生活を楽しんで大きくなってね。

いぶき組 みゆきさん

最近は保育園での出来事をたくさん話してくれるようになり、毎日お話を聞くのがとても楽しみです。今はきのこになりながら「きっきのこ〜♪」と可愛く歌っています。先日「今日の給食は何だった〜?」と聞くと「今日ね、コケッコーだったよ!!」と言うのでメニューを見ると「鶏肉の照り焼き」と書いていたので先生がお話ししてくれているのを覚えているんだなと思いました。いろいろたくさん吸収してくる姿に驚きました。

つぼみ組 たかこさん

保育園で「何したの?」と聞いても、「忘れた」とよく答えていた息子ですが、だいち組になってとてもいっぱい伝えてくれるようになりました。今は国旗ブームで、秘密の時間に国旗をいっぱい描いてこの国はこういう特徴があるなどなどたくさん教えてくれます。国だけでなく、食べ物などにも興味が波及し、私の知らないこともいっぱい教えてくれるようになりとても嬉しく感じます。保育園での出来事で楽しい経験を卒園までたくさんしてほしいです。

だいち組 みきさん

いぶき組になった頃から“おともだちとあそびたい”気持ちが一気に増えました。今日は誰と遊んだと思う〜?と毎日聞かれ、「だれ〜?」と聞くと「〇〇ちゃんでしょ〜〇〇くんでしょ〜」と沢山の名前が出てきます。最近はおやくそくもしてできるようになって、成長を感じています。

いぶき組 あやかさん

4月にかえて保育園に仲間入りをして約半年が経ちました。最初は環境が変わる事に心配をしていたのですが、たくさんのお友だちがすぐに名前を覚えて声をたくさんかけてくれたおかげで、すぐに馴染むことができました。毎日たくさん刺激をもらっているようです。最近、園庭で見つけたどんぐりを持って帰ることが度々あるのですが、そのどんぐりを使って何か一緒に作ろうと子どもと話をしています。

ひかり組 まいさん



## あそびへの思い



### めばえ

先月は、バギーに乗って交通公園へ散歩に出かけました。交通公園では大きな枯葉が落ちており、葉っぱを触ってみたり、振ってみたりして感触や音を楽しみ、秋の自然に触れることができました。今月も、秋を味わうことができるようどんぐりを拾いに散歩に出かけたり、葉っぱおばけを作ったりしてあそびの中に秋を取り入れたいと思います。また体操やわらべうたなど音楽が聞こえると、拍手をしたり保育者の動きを真似したりと、音楽が大好きな子どもたち。今月は、「いとまき」や「げんこつやまのたぬきさん」の歌を歌ったり、二階から素敵な歌が聞こえる幼児の集まりにも参加し、音楽に触れる機会を増やしていきたいと思っています。

宝田聖美 小坂橋円香 峰夏音

### ふたば

少しずつ気温が下がり、過ごしやすい季節になってきました。着替えでは、ズボンを上げたり降ろしたりすることが自分でできるようになってきています。自分で出来たことを認めると見せてくれる得意気な表情がとっても可愛いです。園庭では、どんぐりを拾う子どもたちの姿を目にすることが増えてきました。カップいっぱい嬉しそうに見せに来てくれる子どもたち。大きなものや小さなもの、緑色のもの、一つずつ説明しながら紹介してくれます。お話しが上手になってきて話すことが楽しいようです。子どもたちが話す言葉に耳を傾け、ゆっくり 1対1で過ごす時間も大切に毎日過ごしていきたいと思っています。また、交通公園や東三公園に1人1つずつ袋を持ってどんぐりや落ち葉を拾いに出かけたいと思い、担任間で計画しています。たくさん秋の自然に触れる機会をつくり、子ども達と季節の変化を楽しんでいきたいと思っています。

福井真裕子 尾崎美緒 西田汐里菜

### つぼみ

過ごしやすい秋の季節がやってきましたね。つぼみ組では、着替えの後に自分で洋服を畳むことを始めました。「はしっこはしっこを…」「はんぶんこできたよ!」「ぱっちり!」と、楽しみながら保育者と一緒に練習中です。苦戦しているお友達がいると、「こっちだよ」「そうそう!」と子どもたち同士で教えてあげたり手伝ってあげたりする姿も見られます。こっそり耳をすましていると、思わずクスッと笑ってしまうようなやり取りも聞こえてきます。また毎朝の集いでは、ピアノに合わせて秋の歌が響いています。「やまのおんがくか」や「きのこ」の可愛い振付と合わせて楽しんでいます。ぜひご家庭でも一緒に歌ってみてください。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

### いぶき

10月のお弁当日ではお忙しい中お弁当のご準備ありがとうございました。前日の朝の集いの中でお弁当日であることを伝えると「やったー!」と喜び、嬉しさのあまりに拍手がおきるほどでした。「なにいれてもらおうかな〜」「わたしはね、ぼくはね…」と思いついにお弁当の中身について友達と会話を楽しんでいました。又、先月は念願の御前浜へ異年齢でお散歩に行きました。子どもたちは「はんそでとながずぼんでいくんだよね」「たのしみだね!」と心待ちにしており、どきどきとわくわくでいっぱい様子でした。当日はペアのお兄さんお姉さんに手を繋いでもらい、長い道のりを歩いていざ浜に到着すると、「うわ〜!うみだね」「おいかけっこしよう!」「かいらあるかな〜」と好きな遊びを見つけて楽しんでいました。これからもお散歩の機会や経験を大切にしていきたいです。

小城美紗

### ひかり

だいぼうけんの日でだいち組が体験した世界旅行から、国旗ゲームや各国の文化に触れる機会や異年齢での関わりあう機会となっています。普段の遊びの中でも、自分の思いや考えを人前に立って話をすることや数人の友だちと集まり話し合う機会が少しずつ増えています。自分の思いを伝えることも大切ですが、話に耳を傾けること、相手の気持ちに気づくこと、考える機会にも繋がってほしいです。友だちと素直な気持ちを伝え合う時間を大切にしたいです。11月の運動発表会では、普段の体操の様子だけでなく様々な競技に挑戦する中で友だちと協力し合う姿を見ていただきたいです。

日笠加菜

### だいち

きっとできる!だいぼうけんの日を終えた子どもたちは、さまざまなことを体験し仲間と楽しさを分かち合う姿が増えたように思います。「西宮の町たんけん」や「どうぶつ王国」「南京町めぐり」など園外保育を続ける度に、子どもたちの世界・国旗に対する興味が深まっています。中国から日本に帰ってきたSくんの話も聞きながら子どもたちと世界を深めていきたいです。また毎日読んでいる素話「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」という本に出てくるペリカンとの不思議な郵便のやり取りが始まりました。町たんけんをしている時にたまたま見つけたペリカン便とそこから出てきたペリカンに驚きを隠せない子どもたちでした。その後「ペリカンに手紙を書きたい」と手紙を書くようになり、今ではだいち組みんなて手紙を書いています。「今日は何にか届いているかな」「プレゼントのお返しなくちゃ」と毎日ワクワクしています。今月もだいち組の園外保育を予定しています。ペリカンから届いたコンパスを持って、次はどんな大冒険が待っているのか保護者の方も一緒に楽しんでいただくと嬉しいです。

松岡桃花

### はまかせ

だいち組の「きっとできる!だいぼうけんの日」で世界を探検した経験から、ひかり組、いぶき組の友達も一緒に異年齢で世界巡りをしました。その後も各国のコーナーで遊んでいる姿があります。また、階段の踊り場に残された足跡を見つけると、「ねずみばあさんがきた!」とひかり組が楽しんでいる絵本の世界が異年齢の間でも話題にできています。クラスで親しんでいる世界は、異年齢の間にも共有され、日々保育園であった出来事はすぐに子どもたちに広がります。「どんなことをしているのだろう」、「面白そう」など子どもたちは、敏感に感じとっているのだと思います。子どもたちがもっているアンテナを保育者も同じようにはたらかせ、発見や面白さをたくさん見つけていきます。

坂本春佳 星加由美子